複合金属触媒

研究背景

■ 通常の触媒反応

原　料 —触媒A→ 生成物

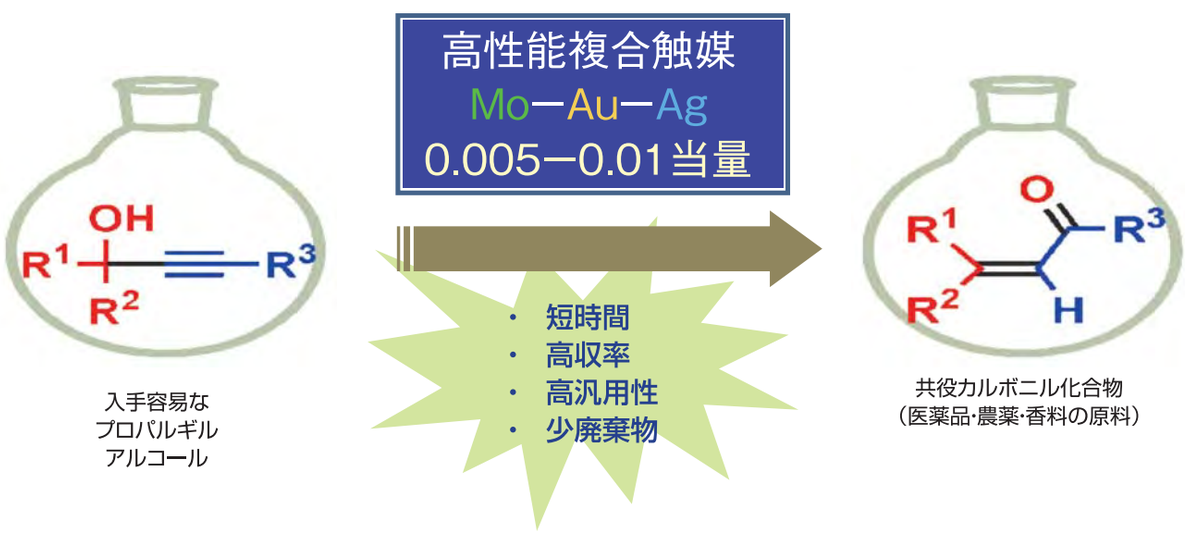
■ 組み合わせ触媒による反応

原　料 —触媒A+B→ 生成物

- 効率アップ
- 工程数の短縮（多段階反応の連続進行）
- 新反応の開発

複合金属触媒による共役カルボニル化合物の高速合成

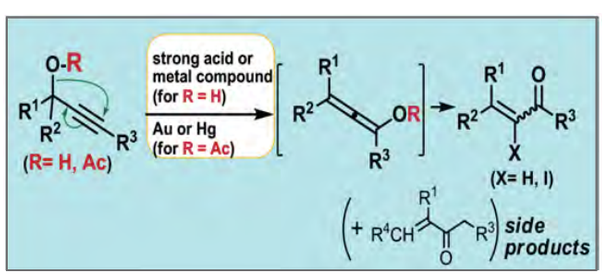
モリブデン、金、銀、の3種の金属化合物を微量用い入手容易なプロパルギルアルコールから共役カルボニル化合物への高効率的変換法



入手容易な
プロパルギル
アルコール

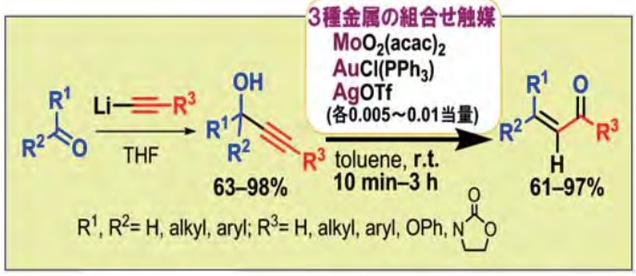
共役カルボニル化合物
（医薬品･農薬･香料の原料）

従来技術とその問題点



問題点		
R=H	・	長い反応時間
	・	加熱を要する
	・	基質適用性が狭い
R=Ac	・	原子効率が悪い

我々の新技術



本法の利点		
	・	室温、短時間で終了
	・	高収率
	・	基質適用性が広い
	・	原子効率が良い

特願2007-228819